

当院における極低出生体重児に対するPICC留置について

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	当院における極低出生体重児に対するPICC留置について
研究期間	2021年 9月許可日～2023年 3月31日
研究対象情報の取得期間	下記の期間に小児科を受診された、出生体重が1500グラム未満でPICCを生後24時間以内に留置した兵庫医科大学病院新生児集中治療室に入院した児 2019年 4月 1日～2021年 7月31日
研究に用いる試料・情報	カルテ情報
研究概要	<p>(研究目的、意義)</p> <p>今回の研究では、出生体重1500グラム未満で兵庫医科大学病院新生児集中治療室に入院した児を対象として、入院後にどの部位に手や足の末梢静脈から挿入する中心静脈カテーテル（以下PICC）を留置されているかを調べることを目的としています。入院した児で最初にどの部位からPICCが入っているかを調べることで、どの場所から挿入しやすいのかを知ることができ、また廃棄するカテーテルを削減することができると思いました。</p> <p>(研究の方法)</p>

今回の研究では、出生体重1500g未満で兵庫医科大学病院新生児集中治療部門に入院された患者さんを対象として、入院後に留置された末梢から挿入した中心静脈カテーテル（PICC）の留置部位を比較します。部位は上肢と下肢にわけ、二群間で在胎週数、出生体重、性別、気管挿管の頻度、在胎週数に比して出生体重が10パーセントイル以上90パーセントイル未満あるいは出生体重が10パーセントイル未満か、留置日数、途中で閉塞した場合や合併症をおこした症例数を比較します。

（個人情報の取扱い）

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

**本研究に関する
連絡先**

兵庫医科大学病院 小児科
宇都宮 剛（研究責任者）

TEL | （平日 9：00～16：30） 0798-45-6352
（上記時間以外） 0798-45-6111（代表）